



もみじ

第12号

【ホームページ】 <http://akihaku-dai1.city-niigata.ed.jp>



～クロッカスの水栽培～



あけましておめでとうございます！

3学期が始まりました。

2025年は十二支の「巳年」、そして60年に一度巡ってくる「乙巳^{きのとみ}」の年に当たるそうです。「乙」は「木」の性質をもつことから、新たな成長の芽吹きを象徴し、「巳」は十二支の6番目で「火」の性質をもち、物事の成長や感性のプロセスを意味します。これらが組み合わさった「乙巳^{きのとみ}」は、若いエネルギーが発展していく特別な年とされるそうです。子どもたちも保護者の皆様も職員も、これまで蓄えてきた力が実を結び、益々勢いを増していく年になるといいですね。

「巳年」にちなんで、「へび」が登場する絵本や昔話を紹介します。『へびのクリクター（文化出版社）』『たのきゅう（クレヨンハウス）』『かえるをのんだととさん（福音館書店）』『さるのおいしゃさんとへびのかんごふさん（ビリケン出版）』『三井の晩鐘（小学館）』『蛇婿（福音館書店・日本の昔話③より）』などです。「へび」というと、みんなから恐れられたり嫌がられたり、その恐怖心から昔話では、誇張された大蛇や龍が創造されているようです。大蛇に攻撃されたりあるいは幸運を授かったりするような昔話や「へび」が愉快地描かれている絵本など、「へび」に様々な役割をもたせながら、語り継がれるお話がたくさんあります。

文庫室で読める絵本を展示します。ぜひ手に取ってみてください。

今年もどうぞよろしくお祈りします。

～2025年：職員の抱負～



～職員一同、心を一つに子どもたちを大切に育てていきます。～